

長期ステロイド・プロトピック使用後の全身リバウンドを経て日常生活へ戻った成人アトピーの経過 (30 歳 成人)

症例 ID：001-30-MT | 記録日：2013 年 9 月 23 日

1. 診断・治療前経過

喘息治療のステロイド吸入薬を約 20 年、ステロイド外用薬を約 10 年、プロトピック軟膏を 7～8 年、抗ヒスタミン薬を約 10 年使用しました。

転居後に症状が悪化し、2012 年 3 月頃から約 3 か月、頭・顔・背中にプロトピック軟膏を使用しましたが、寒気、発汗低下、蕁麻疹などが出たため中止しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ステロイド吸入薬、ステロイド外用薬、プロトピック軟膏、抗ヒスタミン薬を長期使用しました。
製品名	製品名は不明です。プロトピック軟膏の使用歴があります。
強度	不明です。
使用期間	吸入薬約 20 年、外用薬約 10 年、プロトピック 7～8 年、抗ヒスタミン薬約 10 年です。
中止時期	2012 年頃の治療開始時です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

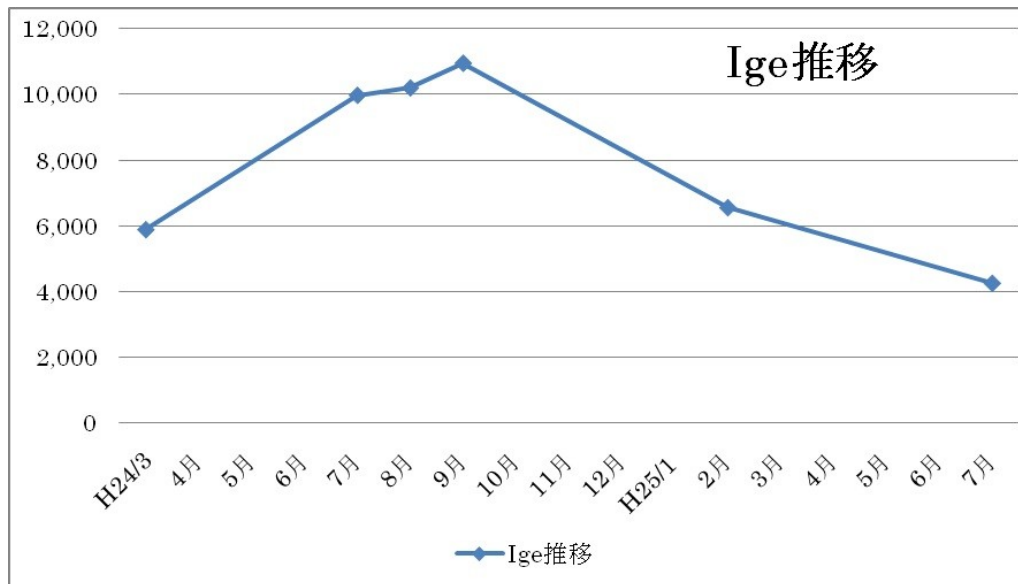
時期	治療開始から	経過
2012 年 3 月頃～約 3 か月	来院前治療	頭・顔・背中にプロトピック軟膏を使用しましたが、症状は改善しませんでした。
治療開始 1 週頃	リバウンド開始	全身の強いかゆみと不眠が始まりました。
治療開始後約 2 か月	ピーク	発熱、全身浮腫、蕁麻疹、落屑、頭・顔の浸出液が続きました。
約 3 か月	生活回復	皮膚が強くなり、日常生活が可能な程度まで改善しました。
約 4 か月	就労への影響	症状のため約 4 か月休職しました。
治療 1 年 2 か月	経過中	全体として約 7 割改善し、額、首、関節にかゆみが残りました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始後約 2 か月間、全身の浮腫、蕁麻疹、落屑、頭・顔からの浸出液が続き、睡眠が毎日 2～3 時間に限られた時期です。

5. 困りごと

- ・全身の落屑が床に積もり、清掃が大きな負担となりました。
- ・皮膚の痛みと浸出液により歩行や入浴が困難でした。
- ・睡眠不足と全身症状のため約 4 か月休職しました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

総IgEの推移。

7. 経過のまとめ

治療開始後約3か月で日常生活が可能な程度まで皮膚状態が整い、1年2か月時点では全体として約7割改善していました。額、首、関節にかゆみが残りましたが、総IgEは約1万超から約4000まで低下していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。